

る屋外と、そこからつながっている室内のベツトが置いてある半畳程のスペースを与えられていました。アークでは考えられない広さです。後でわかったことですが、バタシーでは入ったばかりの犬は約一週間のバタシーでの検疫の為の拘留期間があり、それらの犬はその間犬舎から出ることができません。それだけに、ストレスを軽減させられるだけの広いスペースが必要なのでしょう。8匹はそれぞれにまだ緊張した顔をしていましたが、それでも我々が犬舎へ入ると嬉しそうに飛び跳ねて喜んでくれました。ただ、二匹（ハムレットとマーマル）は緊張の余り、嬉しいはずの食事の時間も周りを気にしてビクビクしていたのも事実です。英国人の身体の大きさや、言葉の違いに慣れるには少し時間が必要なようです。その証拠に日を追うごとに彼らの表情は和らぎ、落ち着きを感じさせてくれました。

一週間後、私たちアークスタッフ三人はバタシーのスタッフに8匹を託し、イギリスを後にしました。残念ながら彼らが受ける、イギリスバタシー流のペットとしての適性審査（アセスメント）を見る事ができませんでした。アークではこの、ペットとして人間と共に暮らせる犬か否か、というプロとしての判断が中々出来ず、保護された犬に対して、時に辛い思いをさせてしまうことがあります。

実際に全ての野良犬にとって、人間と共に暮らすことが幸せなのかと言うと、必ずしもそうではないでしょう。そして、すべての犬が、人間と共存して共に分かりあえるのかというと、それも中々難しいのが現実です。そういった、人と暮らす事ができない犬に対してシェルターとして何をしてあげられるのか？常に私たちはこの問題に直面しております。欧米のアニマルシェルターでは、そういった子たちは獣医の元で静かに眠らせてあげています。

シェルターが一時的な非難場所である限り、犬の一生を過ごす場所ではありません。それに加えて飼育できる犬の数にも制限がありますので、当然シェルターとして運営して行くには、新しい飼主を見つけることが困難な子の一生をシェルター内に監禁することはできません。アークもシェルターとして経営していくには、ある一定の保護期間を設けるか、あるいは適切な適正診断のできるプロが必要であると考えておりますが、欧米とは風土も文化も違いますので、中々割り切れるものではありません。それ故に、今回8匹の犬がイギリスのシェルターであるバタシーへ旅立つこととなった時、このペットとしての適性審査に万が一通らなかった場合の覚悟もある程度必要でした。とてもデリケートな問題だけに、こういった審査が行なわれるのかとても興味がありました。幸いどの子もバタシー

の適性審査に合格し、後は新しい主人を待つのみとなりました。ただ、今だ緊張が解けきらず、バタシーでの生活に慣れない2匹（ハムレット、セイモア）には、フォスターファミリー（一時預かりをする家族）を探し、そちらで新しい飼主さんを探す運びとなりました。

最後になりましたが、8月初旬現在、8匹の犬の中から晴れて2匹の子に新しい飼主さんが現われ、バタシーを後にしました。一番手はなんと、一番歳を取った10歳を超えていると思われるマーマルでした。アークでは間違いなく、新しい飼主を見つけてあげることではできなかったでしょう。この子が幸せになってくれただけでも、今回一年がかりで準備をした甲斐があったというもの。まだ6匹残っておりますが、バタシーのスタッフは、どの子も本当に可愛く、新しい旅立ちも時間の問題だとはなしてくれています。期待を大きくもって、良い知らせを待ちたいと思います。その時にはまた、応援してください。みなさまにもご報告させていただきます。

with an Ark dog and see whether it would be suitable as a companion animal. We often doubt whether all strays will feel happy to live with people. Then, in what way can a shelter like Ark help those dogs that cannot cope with people? That has always been the problem we have faced. (It is common for a Western shelter to put this type of animal to sleep.) A shelter should be a temporary home for rescued animals, not a place where they live throughout their lives. We cannot take in all in need, or accommodate unrehomable animals in the shelter indefinitely. Maybe, setting a certain period of time would be one idea. Most importantly, Ark needs to have a professional assessor who can give a proper judgement on each rescued animal. Anyway, these matters will remain to be discussed and solved in the near future.

Through the process of taking our dogs to Battersea, we have had a great interest in the assessment with each dog by their assessors, and been a little worried about the result. Luckily, all eight dogs passed the test, which means all we can do now is to wait and expect to hear good news of them. Two out of the eight, which still seem too nervous, are going to be sent to temporary foster families and wait for a rehoming chance.

Lastly, we were informed, as of early in August, that two dogs had luckily found good homes and left Battersea. The first one was Marmul, the oldest of all, probably 10 years or over. We would never be able to find her a home in Japan. This fact alone was enough to make us feel our efforts during the past year had been well rewarded. Battersea staff members have assured us that all Ark dogs are so attractive that it's only a matter of time before they find homes. We look forward to hearing more good news from London. Then, we promise to report to all of you, who have been so kind as to back up this project.

8匹の犬をイギリスへ送った費用 Costs of sending eight dogs to the UK

収入 Income:

寄付金 Individual donations	2,077,000
ビンゴパブナイト収入 Bingo Pub Night	1,021,582
合計 Total	3,098,582

支出 Expenses:

スタッフ3名分航空券 Staff airfare x 3	767,990
トラックレンタル費 rental truck	20,580
トラックガソリン代 petrol	5,595
高速代 highway tolls	7,550
犬空輸代 Dogs airfare plus agent fee	2,162,028
スタッフ3名分給与 staff wages x 3 x 9 dys	207,000
狂犬病予防注射 rabies injections	40,000
虫下し・フロントライン worming medicine	29,400
血液検査 Biobest test	94,500
バリケン用給水器 Varikennel waterbowls	10,374
合計 Total	3,345,017